



映画上映会 & 西河内 靖泰さん解説トーク

2021

午後1時30分 - 3時30分

7/31(土)

あけぼのパーク多賀
大会議室 (事前申込:25名)

はだしのゲンが 見たヒロシマ

映画上映会&解説トーク

ドキュメンタリー映画『はだしのゲンが見たヒロシマ』の上映会と、自らも被爆2世であり、映画『はだしのゲン』製作に協力した西河内靖泰さん(前多賀町立図書館長)による解説トークを行います。

※ 参加には事前申し込みが必要です。
多賀町文化財センターまでお申込み下さい。
(先着25名。氏名、連絡先をお知らせ下さい)

西河内 靖泰 にしごうち やすひろ

1953年、大阪市生まれ。
東京都荒川区役所に勤務し、荒川区内の図書館に18年勤務。2009年に荒川区を退職後、滋賀県愛荘町、多賀町で図書館長を務める。関東被爆二世連絡協議会副委員長、事務局長等を歴任。

漫画家・中沢啓治が自身の生い立ち、広島での被爆体験から『はだしのゲン』を描くまでの半生を語る

『はだしのゲン』作者・中沢啓治が広島市内の思い出の土地を辿りながら証言、貴重な原画とともに決して忘れてはならない戦争と原爆の姿を見つめる

—もう黙っていない、自分にできるのは漫画しかない。
漫画で原爆をとちめてやる—

1945年8月6日の広島、中沢は国民学校1年生(6才)だった。原爆投下の時、奇跡的に助かるが、父・姉・弟を亡くし、被爆直後に生まれた妹も4ヶ月で亡くなった。漫画家として活動を始めてしばらくした頃、原爆病院に長年入院していた母が亡くなる。火葬し、骨を拾おうとすると粉々に砕けてほとんど残っていなかった。「原爆は母の骨まで奪うのか」怒りがこみ上げた。それまでは被爆者差別もあり「原爆」から逃げていたが、母の死をきっかけに「自分にできることは何なのか」必死に考え続け、原爆をテーマにした漫画の第1作目「黒い雨にうたれて」を描き上げた。その後少年ジャンプの編集者との出会いから『はだしのゲン』が生まれる。

—踏まれても大地に根を張りまっすぐ伸びる、そして豊かな穂
を実らせる。『はだしのゲン』のテーマは麦なんです—

中沢は自らの体験を「ゲン」に託して描いた。父からの「麦のような人間になれ」という言葉を胸に、辛くて泣きたいときにはカラ元気ですら歌をうたって乗り越えてきた少年時代。『はだしのゲン』には人生の応援歌がこめられている。

—子どもたちに戦争、核兵器のない未来を追求し続けて欲しい、
それには漫画がひとつの役割を果たしていると思う—

中沢は児童向けの漫画にこだわってきた。被爆のシーンを描写することに自身が苦しみ悩みながらも「体験した者にしか描けないことがある、それを読者に届けたい」と本当のことが分からない」と徹底して表現し続けた。「文章だと読みづらい子にも、漫画なら素直に入っていく。子どもたちに、素直に戦争反対の気持ち根付いていってくれたら作者冥利につきます」中沢は笑顔で語る。

ドキュメンタリー/カラー/HDV/ステレオ/77分/2011年 © 2011シグロ、トモコーポレーション
出演:中沢啓治(『はだしのゲン』作者) 聞き手:渡部朋子(NPO法人 ANT-Hiroshima理事長)
企画:渡部朋子 製作:山上徹二郎、渡部久仁子 監督:石田優子 撮影:大津幸四郎 編集:大重裕二
整音:小川武 音楽:小川洋 撮影助手:奥井義哉 宣伝デザイン:小笠原正勝、秋山京子
製作協力:特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima 製作・配給:シグロ、トモコーポレーション
公式サイト <http://cine.co.jp/gen>



中沢啓治(なかざわ けいじ)

漫画家。1939年広島生まれ。1963年「スパーク1」でデビュー。1968年「黒い雨にうたれて」を発表。戦争・原爆をテーマにした作品を描き始める。1972年自伝的作品「おれは見た」、1973年『はだしのゲン』が週刊少年ジャンプにて連載開始、1987年に第1部が完結。『はだしのゲン』は映画、テレビドラマ、絵本、紙芝居、ミュージカルなどにされた他、13か国語以上の言語に翻訳されている。2009年、視力の低下を理由に『はだしのゲン』第2部の執筆を断念。所持する全ての原画9,505点が広島平和記念資料館に收藏される。



<会場>

図書館 / 博物館 / 文化財センター

あけぼのパーク多賀 大会議室

〒522-0314 滋賀県犬上郡多賀町四手976-2

- JR・バス
JR 東海道線(琵琶湖線)彦根駅西口から「工業団地経由 多賀町役場前」行き約20分。「あけぼのパーク多賀」下車
- 近江鉄道
多賀大社前駅から徒歩約25分
- 車
名神高速道路 彦根 I.C. から国道306号線を八日市方面へ約10分。湖東三山スマート I.C. から国道307号線で約10分、多賀北交差点を東へ(左折してください)。びわ湖湖東部中核工業団地の一番手前の瓦屋根の大きな建物です)

主催/ 多賀町教育委員会

多賀町立文化財センター

申込先

問合せ先/ 多賀町立文化財センター

〒522-0314 滋賀県犬上郡多賀町四手976-2

TEL : 0749-48-0348

FAX : 0749-48-2078

E-mail : bunkazai@town.taga.lg.jp